

2017年度第4回理事会報告

開催日時：2017年12月16日（土）15：00～16：40

開催場所：株式会社国際文献社 高田馬場会議室（東京都新宿区高田馬場4-4-19）

I. 会長挨拶

岩崎会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言（欠席理事の確認）

総務担当金子理事より、岩崎晋也会長が議長となり、出席理事を確認し、「定款第43条」に規定されている要件を充足したので「2017年度第4回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第47条に則り、岩崎晋也会長、小林良二監事、金子光一総務担当理事を議事録署名人として選出した。

III. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当金子理事より回覧資料に基づき説明があった。審議の結果、12名全員の2017年度入会が満場一致で承認された。

第2号議案 第6期役員候補者選挙管理委員への委嘱について

総務担当金子理事より、第5期代議員選挙の当選者が確定し、引き続き第6期役員候補者選出選挙を行うにあたって新たに選挙管理委員会を設置するとの説明があり、審議の結果、満場一致で承認された。

第3号議案 第66回春季大会について

総務担当金子理事より、一般社団法人日本社会福祉学会第66回春季大会は2018年5月27日（日）に東京通信大学新宿駅前キャンパスにて開催するとの説明があり、審議の結果、満場一致で承認された。

第4号議案 第67回秋季大会について

総務担当金子理事より、一般社団法人日本社会福祉学会第67回秋季大会の会場について説明があり、満場一致で承認された。なお、開催日程は未定である。

第5号議案 その他

特になし。

IV. 報告事項

1. 2017年度期中監査報告

小林監事より、12月4日に2017年度期中監査を行い、概ね予算通りの執行状況であり、事業は適正に実施されているとの報告があった。

2. 2017年度会員動向・年会費未納者について

総務担当金子理事より、前年度の同時期に比べ年会費の未納者数は少ないが、年会費の督促により注力していくとの説明があった。

3. 2018年度事業計画案および予算案の提出について

総務担当金子理事より、2018年度事業計画案・予算案の提出依頼があった。今期の担当理事により事業計画を立案し、次期の役員体制が整った後、引継ぎを行いながら精査していく予定である。

4. 第5期代議員選挙管理委員会からの報告

総務担当金子理事より配布資料に基づき第5期代議員154名が確定したとの報告があった。第5期選挙管理委員会からの次回選挙への申し送りを確認した。

5. 研究倫理に関する検討委員会からの報告

研究倫理に関する検討委員会担当山田理事より8件のパブリックコメントが寄せられたとの報告があった。

6. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当山野理事より、10月21日、22日に開催された第65回秋季大会（於：首都大学東京）の報告があった。岡部理事より補足説明があった。

研究担当倉田理事より、第14回フォーラムを12月9日にアクロス福岡にて開催し、大変盛会であったとの報告があった。第15回フォーラムは北海道地域ブロックとの共催で開催予定である。

金城学院大学で開催される第66回秋季大会の開催要項を確認し、第66回春季大会のテーマおよびシンポジストについて検討を行った。

7. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌担当坪理事より、機関誌『社会福祉学』の投稿受付および編集状況について報告があった。また、慣例で行っていた投稿受付および査読に関する処理について、明確な規則とするべく次回機関誌編集委員会での検討の予定である。

8. 国際学术交流促進委員会からの報告

国際学术交流促進委員の岡田理事より、ソウル（韓国）で開催された日中韓三ヵ国会

長会議および、日中韓学術交流協定「覚書」締結の報告があった。引き続き廈門大学（中国）にて日中韓三カ国会長会議を開催し、来年度の国際シンポジウムについて継続協議したとの説明があった。

9. 学会賞審査委員会からの報告

総務担当金子理事より、2018年度の学会賞審査のため、2017年刊行の図書を対象に推薦を募集するにあたり、年内に発送予定の『社会福祉学』58巻3号に同封して会員に周知予定であるとの報告があった。すでに学会ホームページ上では案内を開始している。

10. 広報委員会からの報告

広報委員会担当小原理事より、長らく更新が滞っていた学会ホームページの英文ページを、更新したとの報告があった。引き続き、韓国および中国の留学生が必要としている情報の韓国語および中国語への翻訳も進め、ホームページの充実を図る予定である。

2018年2月初旬に学会ニュース77号の発行を予定しており、その企画案を確認した。今年中に執筆者へ依頼を行う予定である。広報委員会日より通算37号を配信し、広範な学会情報を周知したとの報告があった。

11. 若手・女性研究者に対する支援検討委員会からの報告

若手・女性研究者に対する支援検討委員会担当保正理事より、10月に実施したアンケート結果について中間報告があった。

12. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック : 報告事項は特になし。
- ・東北地域ブロック : 功績のある高名な会員が逝去した場合の対処について、各地域ブロックの判断に委ねることとなった。
- ・関東地域ブロック : 2017年度研究大会を2018年3月4日に明治学院大学にて開催する。新しい試みとして、北海道地域ブロックの若手研究者との研究交流を行うこととなった。詳細は学会ホームページに掲載している。
- ・中部地域ブロック : 報告事項は特になし。
- ・関西地域ブロック : 年3回開催している若手研究者・院生情報交換会の第41回、第42回の開催準備を進めている。2017年度の年次大会は龍谷大学短期大学にて2月10日に開催を予定している。
- ・中国四国地域ブロック : 2018年度第50回記念大会を7月14日に四国学院大学にて開催を予定している。機関誌『中国・四国社会福祉研

究』の第5号は近日発刊予定で、現在は第6号の査読を進めている。中山間地域の社会福祉問題の研究成果をまとめた論文集の発刊準備を進めている。

- ・九州地域ブロック : 12月9日に第14回フォーラムの準備および開催をした。編集委員会を開催し、現在、査読結果を各執筆者に通知している。

13. その他（後援依頼、他）

- ・後援依頼2件について

総務担当金子理事より2件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

- ・関連団体からの報告

<日本社会福祉系学会連合>

湯澤理事より、10月に学会連合ニュースレター2017年10月号を刊行したとの報告があった。2017年度の公開研究会を12月17日に「インクルーシブな地域コミュニティをいかに構築するかー実践の成果と課題」をテーマとして、上智大学にて開催予定である。

<社会学系コンソーシアム>

保正理事より、第10回シンポジウムを2018年1月27日に開催予定であり、学会ホームページにもチラシを掲載しているとの報告があった。

<GEAHSS（ギース）>

保正理事より、公開シンポジウムを本日12月16日に開催しているとの報告があった。

<社会政策関連学会協議会>

報告事項は特になし。

<ソーシャルケアサービス従事者研究協議会>

岩崎会長より、団体の名称の変更も含めて、今後の方向性や活動方針等について、議論を重ねているとの報告があった。

議長は、議事終了を告げ、16時40分に理事会を解散した。

以上